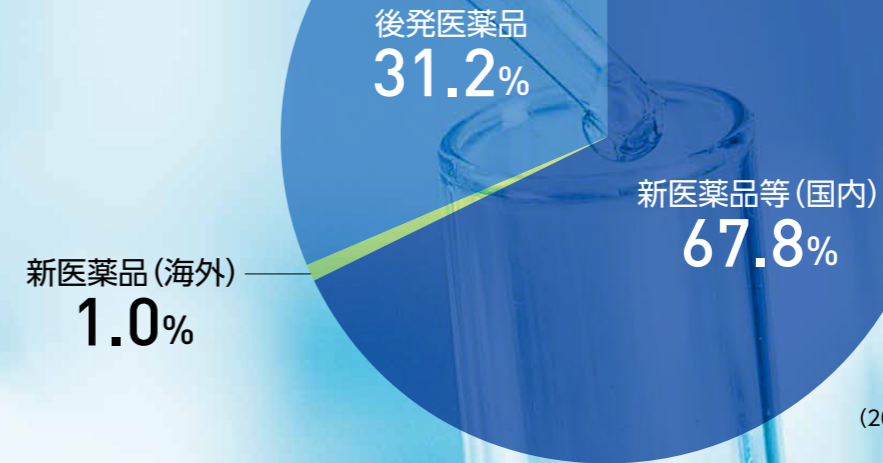


キョーリン製薬グループの事業概況

当社グループは、持株会社であるキョーリン製薬ホールディングス(株)のもと、医療用医薬品を主とする医薬品事業を展開しています。新医薬品等では、特定領域(呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科)に経営資源を集中するFC(フランチャイズカスタマー)戦略をベースとして、革新的な新薬の創製、医薬品の開発、生産、販売を行うとともに、環境衛生や感染症診断に関わる製品、一般用医薬品等を販売しています。また後発医薬品においては、自社開発、生産、販売を行っています。

区分別売上高比率



新医薬品 主力製品



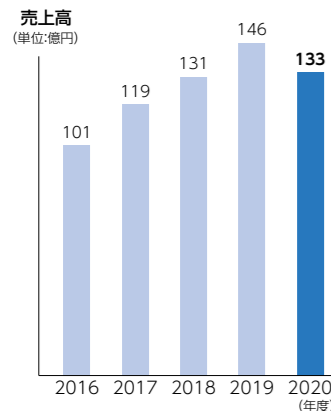
呼吸器科・耳鼻科



フルティフォーム

喘息治療配合剤
一般名：フルチカゾン/
ホルモテロール
発売年：2013年

ICS/LABA市場：1,010億円
2020年度シェア：15% ※



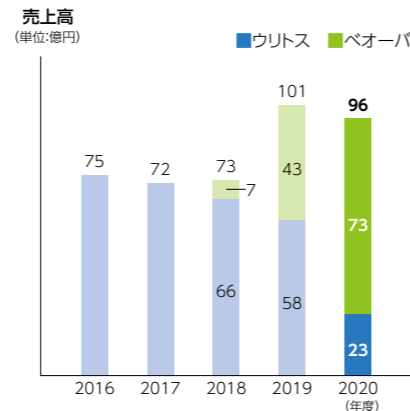
泌尿器科



ウリトス

過活動膀胱治療剤
一般名：イミダフェナシン
発売年：2007年
小野薬品工業(株)と共同開発、
共同販売(小野：ステープラ)

尿失禁治療剤市場：980億円
2020年度シェア：ウリトス/3%
ベオーバ/9% ※



ベオーバ

過活動膀胱治療剤
一般名：ピベグロン
発売年：2018年
キッセイ薬品工業(株)と共同開発、
共同販売



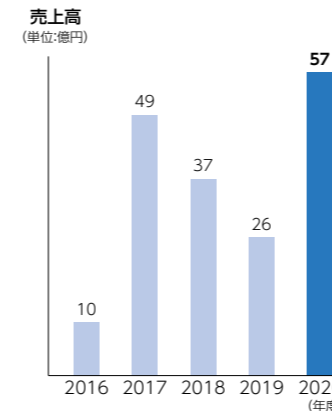
耳鼻科



デザレックス

アレルギー性疾患治療剤
一般名：デスロラタジン
発売年：2016年
皮膚科領域で科研製薬(株)と
コ・プロモーション

抗ヒスタミン剤市場：1,370億円
2020年度シェア：5% ※



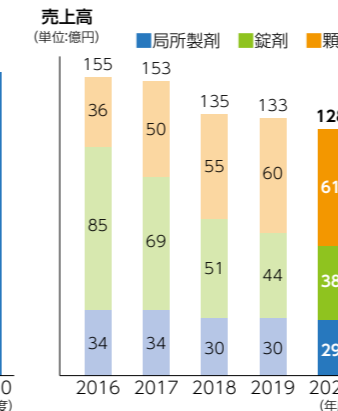
その他



ペンタサ

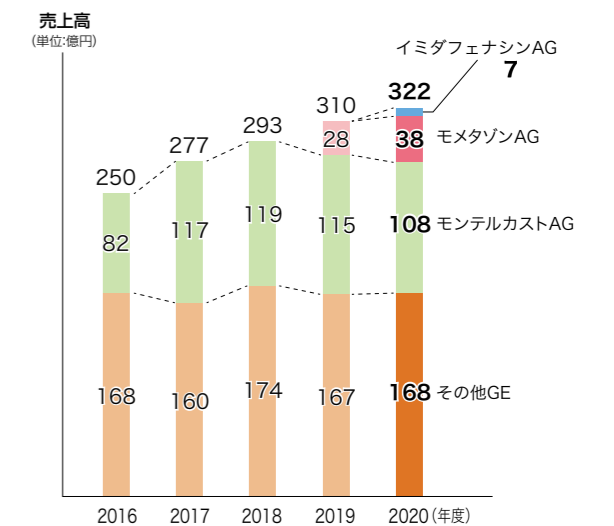
潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤
一般名：メサラジン
発売年：1996年(錠250mg)
2015年(顆粒)

炎症性腸疾患治療剤市場：450億円
2020年度シェア：33% ※



後発医薬品

グループ内で新薬とオゾンライズド・ジェネリック(AG)を扱っていること、また開発・生産・販売の機能を一貫して行うことができることを強みとして、高品質な製品の安定した供給を実現しています。



※ Copyright©2021 IQVIA. JPM 2021年3月MATを基に自社分析 無断転載禁止